

科 目 名	運動方法学演習 2（器械運動）					開 講 キャンパス	神 埼
担 当 者	福 本 敏 雄						
開 講 年 次	1	開講期	後期	単位数	1	必修・選択	選 択
授業の概要 及びねらい	各グループで分担して課題表の技の系統発展性を検討し、それぞれの技の練習方法を理解するための学習資料を作成するとともにその指導者役を決定する。技ごとに分担して学び合い活動を通して技能の習得及び補助法を身につける。また、習得した技をいくつか組み合わせて流動的に表現できるようにする。 予備的運動を準備運動として取り上げ、安全でスムーズに練習できるようにする。						
授 業 の 到 達 目 標	・マット運動、跳び箱運動、鉄棒運動について基礎的基本的技を習得するとともに、安全で合理的・効率的・段階的指導方法及び補助法を身につける。 ・各運動種目の予備的運動及び発展的運動を理解し、その指導方法を理解する。 基礎的基本的技に発展的技を組み合わせ流動的に表現できる。						
学 習 方 法	グループで課題を実践する。						
テキスト及び参考書等	器械運動の授業づくり（高橋編著：大修館書店）、新学習指導要領（中・高等学校保健体育編：文部科学省）必要に応じて資料を配布する。						
評 価 基 準 ・ 方 法	到 達 目 標						
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現	評価割合%		
定期試験	○	○				30	
小テスト等							
宿題・授業外レポート							
授業態度			○	◎		70	
受講者の発表							
授業への参加度							
その他							
合 計						100	
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
第 1 週	オリエンテーション（グルーピング、役割分担、学習の進め方の理解）						
第 2 週	マット運動（接触回転技群①：ゆりかご運動、前転、後転、集団マット運動）						
第 3 週	マット運動（接触回転技群②：開脚前転、開脚後転、伸膝前転、とび前転）						
第 4 週	マット運動（倒立回転技群①：側方倒立回転						
第 5 週	マット運動（倒立回転技群②：倒立、倒立前転、後転倒立、ブリッジ）						
第 6 週	マット運動（倒立回転及び技群①：前方倒立回転及び）						
第 7 週	マット運動（倒立回転及び技群②：ロンダート）						
第 8 週	跳び箱運動（①かえる跳び→開脚跳び、うさぎ跳び→抱え込み跳び、集団跳び箱運動）						
第 9 週	跳び箱運動（②台上前転、首はね跳び、頭はね跳び、前方倒立回転跳び）						
第 10 週	跳び箱運動（③下向き横跳び、側方倒立回転跳び）						
第 11 週	鉄棒運動（①上がり技）						
第 12 週	鉄棒運動（②回転技）						
第 13 週	鉄棒運動（③降り技、集団鉄棒運動）						
第 14 週	平均台運動（跳び上り→ジャンプ技→降り技）						
第 15 週	器械運動のまとめ						
第 16 週	定期試験						
備 考	事前事後学習については授業ごとに指示を行う。						